

		支 援 内 容	
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・検温などの基本的な体調管理を行い、必要に応じてリハビリテーションや医療的ケアを実施します。 ・生活リズムの安定、衛生管理、感染予防に配慮しながら、ひかりのいえで安心して過ごせる“第三の居場所”として生活できるよう支援します。 ・プライバシーに配慮し、特性や発達に合わせた排泄介助・更衣介助を行い、希望に応じて機械浴を実施します。 ・食事は本人に合った姿勢・ペース・介助方法で提供し、食前の挨拶やお口の体操、食後の口腔ケアを行います。 <p>【具体的な支援内容の例】 食事、排泄、機械浴、清潔保持、健康チェック、医療的ケア、リハビリテーション、感染予防、口腔ケア、お口の体操</p>	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・特性や発達段階に応じた療育活動を行い、こどもの「好き」を伸ばしながら、「苦手」に寄り添い、安心して挑戦できる環境を整えます。 ・様々な姿勢（立位・座位・腹臥位・側臥位など）や環境設定の中で活動を行い、関節拘縮や変形の予防、立位・座位・歩行訓練による筋力の維持・向上を図ります。 ・五感（視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚）を刺激する活動を通して、こども一人ひとりが安全に楽しく参加できるよう、声掛けや関わり方を工夫します。 <p>【具体的な活動例】 バランスボール、ボール転がし、射的あそび、ペットボトルボーリング、絵の具遊び、水遊び、スイッチ遊び、トコトコカーリング、お散歩、色鬼、パラバルーン、楽器あそび、感覚あそび、ハンモック、足浴・手浴、じゃんけん列車、ひかり遊び、すごろくゲーム、風船ポッチャ、はないちもんめ、ババ抜き、新聞あそび</p>	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・色や音、光、触覚などの感覚を感じられる療育活動を通して、こども一人ひとりの「やりたい」「やってみたい」を引き出し、主体的な参加につなげます。 ・こどもの感じ方や特性に寄り添い、選択肢を提示する場面を増やしながら、自分で選ぶ経験を積めるように支援します。 ・活動の見通しや状況を丁寧に伝え、こどもが自分の行動や気持ちに気付けるように促し、安心して取り組める環境を整えます。 ・活動後の様子を振り返り、成功体験やできたことを一緒に確認し、自己肯定感の向上につなげます。 <p>【具体的な活動例】 読み聞かせ、大型絵本、音楽、ひかりあそび、音おもちゃ、楽器遊び、パラバルーン、感覚遊び、ふれあい体操、シャボン玉あそび、カードあそび</p>	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・お友だちやスタッフとのふれあいを大切に、安心できる関わりの中で、声・表情・視線・動きなど、こども一人ひとりの表出を引き出します。 ・こどもの特性やペースに寄り添い、「ひとりにしない」丁寧な関わりを通して、表情・視線・しぐさなどの小さな変化にも気づき、コミュニケーションにつなげます。 ・朝の会や帰りの会、療育活動の中で、選ぶ・伝える・応えるなどの表出の機会を意図的に設定し、こどもが安心して自分の気持ちや意思を表せる環境を整えます。 <p>【具体的な活動例】 朝の会、帰りの会、お天気クイズ、好きなどっち、読み聞かせ、カードゲーム、かるた、絵合わせ・色合わせ、色選び、絵の具あそび、製作活動、色鬼、じゃんけんゲーム、すごろくゲーム、はないちもんめ、じゃんけん列車、くだものください、もの鬼</p>	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフや友だちとのふれあいを大切に、安心できる関わりの中で、人との関わりや環境の変化、生活音に対する“安心感と信頼感”を育てます。 ・こども一人ひとりに寄り添い、「ひとりにしない」丁寧な関わりを通して、表情・視線・しぐさなどの小さな変化にも気づき、本気で向き合うことで成長の芽を逃さず支援につなげます。 ・お友だちと一緒に療育活動を行う中で、相手の存在に気づき、自ら関わろうとする“楽しさ”や“心地よさ”を育てます。 ・散歩や買い物学習などの地域活動を通して、地域の人々との触れ合いを経験し、社会とのつながりを広げます。 <p>【具体的な活動例】 朝の会、帰りの会、ふれあい体操、散歩、園芸、野菜作り、買い物学習、集団療育全般</p>	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に、家庭・学校・園での様子と、ひかりのいえでの姿や表れを丁寧に共有し、こどもを中心とした一貫した支援につなげます。 ・ご家族とのコミュニケーションを大切に、「ひとりにしない」姿勢で本気で向き合うことで、こどもの小さな変化にも気づき、安心して相談できる関係づくりを行います。 ・定期的な面談（6ヶ月に1回以上）や、必要に応じた専門職面談を通して、成長や課題について一緒に考え、ご家族の思いに寄り添います。 ・家族支援・相談支援を行い、最新の情報や支援方法を共有しながら、ご家庭での関わりや環境づくりをサポートします。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援から保育園・幼稚園・学校への移行に向けて、本人・保護者・関係機関と丁寧に連携し、必要な環境や準備を一緒に整えます。 ・こどもの小さな変化や成長の芽に気づき、移行先でも活かせる支援につなげます。 ・移行先の事業所や学校等と連携し、こどもの強みや特性、支援方法、本人・保護者の意向を丁寧に伺い、共有します。 ・こどもが新しい環境でも安心して過ごせるよう、見通しづくりや必要な配慮事項を関係機関と協力して調整します。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会や重症心身障害児者の多職種連携研修、学校公開などに積極的に参加し、地域の最新情報を収集しながら、関係機関との連携や地域課題の解決に取り組めます。 ・学校からの実習受け入れを行い、地域の教育機関と協力しながら、福祉の理解促進や人材育成に貢献します。 ・園芸・野菜作り・散歩・買い物学習など、地域の人々と自然に触れ合える場面をつくり、こどもが地域社会の一員として関わる経験を広げます。 ・ボランティアの方々の協力を得て、イベントや園芸活動に参加してもらい、地域全体でこどもを支える温かいつながりを育てます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な研修や教育を通して、知識と実践的なスキルを継続的に学び、こども一人ひとりに本気で向き合える職員の育成を行います。 ・資格取得や研修参加のための費用補助や学習機会を提供し、職員が専門性を高めながら安心して成長できる環境を整えます。 ・自己評価表を活用し、定期的な振り返りとフィードバックの機会をつくることで、職員自身の変化や成長に気づき、質の向上につなげます。 ・感染予防、防災、防犯、身体拘束・虐待防止、事故防止、BCP（業務継続計画）などに関する研修や訓練を行い、こどもを「ひとりにしない」安全な支援体制を維持します。 ・職員同士のコミュニケーションを連携を大切に、困りごとを抱え込まない職場づくりを通して、安心して働ける環境を整えます。
主な行事等	正月遊び（福笑い）、節分（豆まき・製作）、ひなまつり、お花見、端午の節句（製作・こいのぼり見学）、七夕製作、水遊び、夏祭り週間（ヨーヨー釣り、魚釣りゲーム、かき氷、盆踊り、神輿、製作）、ハロウィン（寝相アート、仮装）、クリスマス会（寝相アート、仮装、製作）、お誕生日会		